♀２０２３年投稿募集のテーマ♀

第１回　あなたの好きな野球選手は？　2/13(月)締切、2/19掲載
第２回　ＴＤＬ４０周年。ディズニーの魅力は？　4/１０締切、4/１６掲載
第４回　水泳について　8/14締切、8/20掲載
第５回　街おこしのアイデア募る！　10/9締切、10/15掲載
第６回　今年一番うれしかったことは？12/11締切、12/17掲載

FAX043-484-2149　Email　yomiuri-is@fine.ocn.ne.jp　郵送〒285-0025佐倉市鏑木町1205-2YC佐倉

ドラゴンへの階段　第㊺回（連載エッセイ版）

「赤ちゃんはなぜ生まれる時に泣くんだろう？」佐藤　洋祐

明けましておめでとうございます。２０２３年もよろしくお願い申し上げます。

昨年末に、私が受け持つ専門学校での合奏の授業の中で、ジャズドラマーを目指す学生のＡくんとこんなやりとりがありましたので紹介いたします。

Ａくん：ジャズドラムって、どう叩いたらいいのか答えがなくて、何をやっていいかわからなくて、なんか遠慮して叩いちゃうんですよね。ロックなら誰かの演奏そのままにコピーして叩けば良かったし、吹奏楽なら楽譜があったし。でもジャズは全部自分で決めろって言われるから。

私：たしかに。自由に何をやってもいいと言われると何をしていいかわからないよね。確かにジャズは自由を重んじるけど、一方で伝統音楽の側面もあって、型のしっかりあるものだから、型を真似る、型がどのように表現の中で使われているのか、実際の演奏を見聞きしてみるのはどうかな？今ならライヴ演奏なんかもよくインターネット配信しているから、世界中の演奏が聴けるよ。

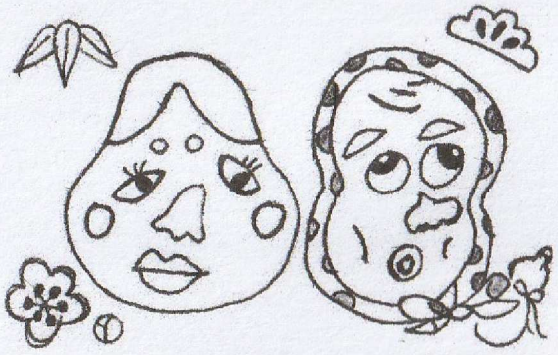
（Ａくんと一緒に、ちょうどその時ニューヨークで行われていたライヴの映像を一緒に観ます）

Ａくん：いいなー、こんな風に自由に叩きたいな。でもみんな僕のドラムをうるさいって思ってるんぢゃないかな、とか、遠慮しちゃうんですよね。

私：それはそれでＡくんの、一緒に演奏している仲間への思いやりとして、みんなに良く伝わっているんぢゃないかな？

Ａくん：それだったらいいんですけど。でも、今ビデオで観たドラマーとか、思いっきり叩いてますよね（笑）。

私：そうだね。音楽って包容力がとてもあるから、例えば赤ちゃんがキャーキャー叫びながらスプーンを持って食器を楽しそうに叩くのもとっても魅力的な音だったりするし、一方で、良く自制されコントロールの効いた大人の演奏も魅力的だし。音楽っていろいろな現れ方をするし、それが自由であるってことでもあるんぢゃないかな？



Ａくん：そうですよね！でも確かに、言われてみると、僕、前から赤ちゃんって完璧な存在だな！って思っていたんですよ！

私：赤ちゃんを完璧な存在って思えるＡくんの感性がすごいな！確かに赤ちゃんってそれ自体で完璧な存在だね、神様みたいな。ところで赤ちゃんって生まれるときに、みな泣くよね。あれは、完璧に満ち足りていた世界から何かを手放さなければならない時の赤ちゃんの悲しみ、この世に生まれる時に何かを手放す寂しさから泣くんだ、という話しを聞いたことがあるよ。この世で生きるという事は、何かを見たり、聞いたり、食べたり、愛したり、逆から言えば、見られたり、聞かれたり、食べられたり、愛されたり、まとめて言うと、自分以外の他者から受け取ったり、受け取られたりする世界に飛び込む、ということだと思うんだ。赤ちゃんがお母さんのおなかの中にいるときは、そんな他者とのやり取りのない、それで完璧な世界にいた。でも生まれるってことは、自分の大事な一部を手放して不完全な個体になることで、そこに空白の部分ができて、その空いた部分に他者から何かを受け取るスペースができるんだっていうことなのかも知れないね。今はＡくんのドラムの演奏はいろいろなことを受け取るために空白がいっぱいあって不安に思うかもしれないけど、赤ちゃんが次第に大きくなって他者とのやりとりを覚え、社会の中で自立して生きていくように、Ａくんも自然にみんなとの音楽のやりとりを覚えていけるんぢゃないかな？

Ａくん：わあ、いい話ですね！なんか音楽を学ぶって哲学みたいだな。あ、ふと思ったんですけど、芸術家でそのキャリアを進んでいくと、最終的に赤ちゃんに戻っていくって言いますよね、例えばピカソの描く絵とか、晩年の作品はどんどん赤ちゃんの書くような絵に近づいて行ってるようにみえたり！

私：お！確かに・・・！やっぱり完璧を目指していくと、どんどん赤ちゃんに近づいていくのかな！

Ａくん：そういえばさっきビデオでみたドラムの人もそうでしたけど、先生もなんか、僕らと演奏してるとき、赤ちゃんみたいにはしゃいぢゃってますもんね（笑）！

私：・・・・（笑）。

（２０２３年１月８日筆）

佐藤　洋祐（サトウ　ヨウスケ）
ジャズミュージシャン。サックス奏者としてグラミー賞を2度受賞。2015年末より佐倉市在住。2019年よりシンガーとしても活動を開始。